

MTRC 新聞

明走会
トレラン部

キケさん遂にUTMB完走!

46時間6分

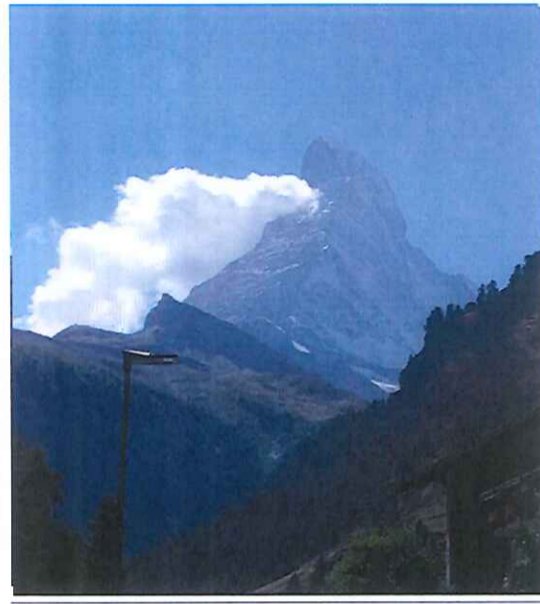
笑っちゃうほどギリギリ ゴールではお嬢様と満面の笑み



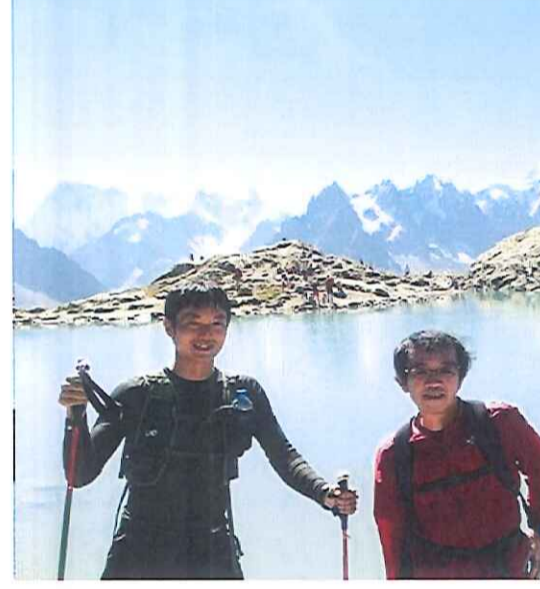
お嬢様と日の丸を掲げてガッツポーズするキケさん

キケさんこと亀掛川さんが、世界最高峰のウルトラトレイルUTMBを完走し、見事100マイラーの仲間入りを果たした。

まずはクールマイヨールまでせつせと行って、二〇〇Kのシャンペラックを過ぎたら、あとはもう歩いて大丈夫。と聞いていたのですが、行けども行けども余裕が出来ず。そんなギリギリの中でも楽しいことが沢山あったとか。



「ダメにきまつてるでしょ!」と却下され!意地で4〜5人抜いちやつて最後尾から抜け出しこれ見よがしに写真を撮ったり。休憩後フェレの登りを元気に登ってたら、今度は「なんだ登れるんじゃないの!」と驚かれたり。途中大きな牛がコースに立ち止まって突つかかってくるたらどうしようかと思つたら、またまた「早く行きなさい」という冷たい指示。恐る恐る進んだら、牛がゆっくりと道を譲ってくれたり。その後眠たくてふらふらしている日本人ランナーに出会い「お話ししながら行きましょう」と声を掛け、彼を励ましての振りをしてつづ、実は自分の気分転換をしてました。ようやく着いたフェレ峠(二五三七m)では、最後尾ランナーの予定時間を超えており、この



今考えても笑っちゃうような話ですが、終始こんな状況で飽きることが無かったように思います。総距離一七〇K 累積標高一万メートル、制限時間二二分前のゴール。長いような短いような、モンブラン山群で遊ばせてもらったとても楽しい旅でした。

8月28日9時(現地時間)ウエーブスタートにつき久我さんのスタートは約20分後。例年より気温が高いこともあり、序盤のフィレ峠で足が攣りまくり厳しいレース展開に。その後のシャンペラックまでの6kmにもおおよそ登りで気持ち切れてしまい55.5kmの同閉門にて制限時間わずか4分オーバーという無念のリタイヤ。



これが、フィレ峠

久我さんCOOL無念のリタイヤ
フィレ峠が閉門阻む
り続くコース、下りが永遠に続くこと、および地面が固いのは国内レースとは異なるポイントだったそうです。今後海外遠征に出られる方は参考にしてください。来年もしくは再来年に再出場できれば(ポイントがあれば)UTMBにも出たいと早くもリベンジを誓っていました。という久我さん早速数週間後に信越五岳に出てみせんでしたっけ?ポイントは余裕かと...

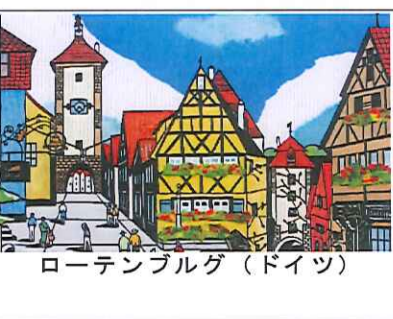
UTMF 鎌田さん
悪路に苦しむ
9月25日13時 河口湖畔八木崎公園にて号砲。豪雨でぬるぬるの急坂に体力を奪われつつも前に進むが69K富士宮エイドの閉門に間に合わず涙を飲むことに。最終記録は46K麓エイドOUT。「もう二度とロングトレイルなんてやらない、この山から生きて抜け出した」という心境だったが、「やっぱりもう一度くらい挑戦してみるか」に変更。(笑)実力不足との分析ですが、完走率が41.5%とないかつてない過酷なレースだったことを考えれば十分な健闘だったのではないでしょうか?「皆様の期待に応えられずすみません。でも終了後9%の耐ハイを一升近くも飲んじやいました。」と鎌田さん



スタート地点に立つ鎌田さん

加藤さん NHKで放映
続編10月10日(土)午後8時45分Eテレにて
トレイルはもろろんトライアスリートでもある加藤さんのアイアンマンレースに向けての練習の日々がEテレ「ろうを生きる」で前編・後編の二部構成で放送されます。(前編はすで放送済)NHKがレースに挑む加藤さんに密着します。後編ではトライアスロンの大会本番前に加藤さんが夢を語ります。それは60歳を迎える年にトライアスロンの最高峰レース「アイアンマン」で、年代別の世界チャンピオンになること。人工内耳を装着し着々と力を伸ばしつつも、併発した内耳の病気によって聴覚だけでなく三半規管の機能にもハンデがあり、バイクでのコーナリングにはついブレーキをかけてしまうという。タイ

是非お見逃しなく。尚、前編再放送は10月9日(金)後編再放送は10月16日(金)共に深夜0時45分より



ローテンブルグ(ドイツ)

11/26~ 切り絵展
東山さん作品
ランナーでもあり切り絵作家でもある東山さん。今年も第38回切り絵美術展に出品されます。上野の杜にある「東京都美術館」にて。芸術に触れる良い機会ですね。秋の上野でステキな休日はいかがでしょうか。会期は11・26〜12・3



KATO